

新たな復興基本方針に関する意見交換会終了後の
高木政務官ぶら下がり会見録
(平成28年1月28日(木) 於) 復興庁岩手復興局)

1. 発言要旨

今日は、この3月に集中復興期間が終わって、4月からいよいよ後期5年間の、5か年の復興・創生期間を迎えることを踏まえて、平成23年の7月に策定した現行の復興の基本方針、この見直しについて首長さん方からいろいろと意見を伺いました。いろいろな、様々な貴重な意見をいただきました。

例えば、震災の経験だとか教訓、これを将来どう生かしていくか。それから、今2019年には釜石でラグビーのワールドカップが開かれます。それから、2020年にはオリパラもあると。そういうものと連携した観光振興。

それから、住宅再建が今進んでおりますけれども、その中でコミュニティをどう形成していくか。それから、医療・介護といった体制をどう整備していくか。様々な意見をいただきました。

こういう意見を踏まえて、今後復興方針を具体化していく中で、骨子への書きぶりも含めて検討していきたいと考えております。

2. 質疑応答

(問) 政務官の御認識では、今日首長さん、あるいは知事の方々からおおむねの方針、方向性についてはある程度御理解いただいたという認識でしょうか。

(答) はい、総括的な御意見もありましたし、各細かいいろいろな御意見もあったので、細かい点については事務方といろいろすり合わせながら、今後の基本方針の具体化を進めていきたいと考えてます。

(問) 陸前高田の市長さんから、行方不明者の捜索について国からも協力いただきたいというふうな御発言あったと思いますが。

(答) そういう意見もございました。これも含めて、検討していきたいと考えています。

(問) 今回、要望みたいな意見が多かったのかなと思うんですが、いわゆるその反対と反発というか、そういう否定的な意見というのはあったんでしょうか。

(答) いや、皆さんやっぱり前向きに、この復興とあわせて地方創生を一緒に進めていく中で、どういう取組をしていったらいいか。それを国・県といろいろと意見交換しながら、これから進めていきたいと思いますということですので、否定的な意見というのはそんなになかったと思います。

(問) 要望が中心だったということでしょうか。

(答) はい。

(問) 今回、3月11日前後に閣議決定できるようにというお話だったというふうにお聞きしました。

それで、今後さらに意見を聞く場というのはどういうふうなスケジュール、あるいは予定があるのかどうか教えていただければ。

(答) 今回、期成同盟会で首長さん方が集まった機会を活用して、こうして意見を聞く機会を作らせていただいたのと、今後は各復興局からも被災地回ってますのでね、現場主義を徹底して、いろいろお話を吸い上げていきたいと考えています。

(問) 改めてまた政務官であったり副大臣がいらっしゃる場も、もしかすれば機会としてあるのでしょうか。

(答) 高木大臣も、国会情勢をにらんで、時間を見つけてこちらのほうへ入って意見を伺いたいという話も聞いています。

(問) 日程次第ということでしょうか。

(答) そうだと思います。

(以 上)